

地域医療学 (Community Medicine)

担当教員

非常勤講師 砂川 雅之

科目群	開講期	授業形態	単位数	必修等
薬学専門教育（講義）	4年次 後期	講義	1.5単位	必修

【概要】

近年、日本は、高齢化社会の到来により、地域における医療及び介護の総合的な確保が必要となり、地域包括ケアシステムの整備が進められているところである。薬剤師は安全かつ有効な医薬品の供給と医薬品の経済性の確保、そして地域医療への貢献が求められている。また、医療は経済と密接に関係しており、その多くは医療保険制度に依存している。本講では社会保障制度、医療・介護保険制度の成り立ちと仕組みに関する基礎知識、薬物治療の経済評価方法及び地域医療・地域薬局における薬剤師の役割について講義する。

【授業の一般目標】

地域薬局、社会保障制度、薬剤経済の基本的な知識を修得し、社会全体から見た薬剤師の活動について理解する。

【準備学習(予習・復習)】

次の学習項目に該当するテキスト箇所を読んだ上で講義に臨むこと。

【学習項目・学生の到達目標と、対応するSBOコード】

No	学習項目	担当教員	学生の到達目標	SBOコード
1	社会保障制度	砂川	日本における社会保障制度のしくみについて概説できる。	C18-(2)- -1
2	公的医療保険制度	砂川	公的医療保険制度の役割、医療保険制度の成り立ちと現状、しくみ、種類、国民の福祉健康における医療保険の貢献と問題点、国民医療費の動向と内訳、後発医薬品（ジェネリック医薬品）の役割、医薬品生産金額、医療従事者数、医療施設数、薬局数について概説できる。	C18-(2)- -2 C18-(2)- -1,2,3,4 C18-(2)- -1,4
3	高齢者医療保険制度、介護保険制度	砂川	高齢者医療制度のしくみと介護保険制度のしくみを概説できる。	C18-(2)- -3, 4
4	薬価基準制度、薬価算定方式	砂川	保険医療と薬価制度、新規医薬品の価格を決定する要因について説明できる。	C18-(2)- -2, 3
5	保険薬局及び保険薬剤師療養担当規則	砂川	薬局の形態および業務運営ガイドラインを概説できる。医薬品の流通のしくみを概説できる保険薬局及び保険薬剤師療養担当規則について説明できる。	C18-(3)- -1,2,3
6	保険調剤・調剤報酬点数表（1）	砂川	保険調剤及び調剤報酬の構成、調剤報酬点数の算定について説明できる。	C18-(3)- -4
7	保険調剤・調剤報酬点数表（2）	砂川	調剤報酬明細書（レセプト）を作成し説明できる。	C18-(3)- -4
8	医薬品の価値・費用対効果	砂川	薬物治療の経済評価の意義について説明できる。	C18-(2)- -5
9	薬剤経済評価の方法論	砂川	薬物治療の経済評価手法を概説できる。	C18-(2)- -5
10	薬剤経済分析のアプローチと分析例（1）	砂川	薬物治療の経済評価の意義について説明できる。	C18-(2)- -6
11	薬剤経済分析のアプローチと分析例（2）	砂川	モデルによる分析手法について説明できる。代表的な症例をもとに、薬物治療の経済的な観点から解析できる。	C18-(2)- -6
12	地域薬局の役割、医薬分業	砂川	地域薬局・薬剤師の役割について説明できる。医薬分業のしくみと意義、現状と将来展望、かかりつけ薬局の意義を説明できる。在宅医療及び居宅介護における薬剤師と学校薬剤師の役割について説明できる。	C18-(3)- -1, 2, 3 C18-(3)- -1, 2, 3
13	セルフメディケーション（1）	砂川	セルフメディケーションの意義について概説できる。	C18-(3)- -1
14	セルフメディケーション（2）	砂川	主な要指導・一般用医薬品（OTC医薬品薬）を列挙し、使用目的を説明できる。生活改善薬、サプリメント、保健機能食品等について概説できる。	C18-(3)- -2 C18-(3)- -3
15	総括・まとめ			

(書名)
教科書 詳説薬剤経済学第2版

(著者・編者)
砂川雅之 その他

(発行所)
京都廣川書店

【成績評価方法・基準】
定期試験で評価する

【オフィスアワーなど担当教員に対する質問等の方法】

質問は講義室にて受けます。メールにても可能、学籍番号・氏名を記載の上 E-mail : kpu-sunakawa@zeus.eonet.ne.jpまで。